

あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和4年第2回青木村議会6月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆様方にご出席をいただき、また日頃より村政の運営にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

議長及び先の議会運営委員会から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として簡潔な説明・答弁をとのお話がありましたので、そのような対応とさせていただきますがよろしくお願いいたします。

3か月前、ロシアの侵攻から始まったウクライナとの戦争を、直ちに終わらせなければなりません。

今世界は平和な国際秩序が壊され、かつてない規模のエネルギーや食料価格の高騰に襲われています。この先何が起きるか誰にも分からない状態です。ロシアのプーチン大統領は核兵器の使用をチラつかせるなど、「力こそ正義」という「力の論理」を押し通し、世界は第二次世界大戦後最も危険な状態となっております。

今すぐ、この戦争を停止させなければなりません。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まって3年目になりましたが、なかなか収束が見通せません。

こうした中、村で年明けの1月末から開始した新型コロナワクチンの3回目接種は、5月末現在、全村民の約75%の方（2回目の接種済み者の約87%）に接種を終了いたしました。（60歳以上は、全村民の約90%、2回目の接種済み者の約97%）

また、4月から接種を開始しました5歳から11歳の小児接種は、接種率が約30%となっています。

村民の皆さまのこうした感染対策に対する高い意識と協力のおかげで、青木村の新型コロナウイルス感染症の人口に対する感染率は、約1.7%と全県の3.5%、全国の6.9%と比べても極めて低い率となっております。

現在、新規陽性者数は、減少傾向にあり、5月30日に上田管内の感染警戒レベルも「レベル2」に引き下げられ、感染拡大のリスクが低下してきています。今後は、感染拡大防止のための感染対策をしっかりとしながら、社会経済活動を維持し

ていく必要があります。このため、村民の皆さまには、基本的な感染防止対策を引き続きお願いするとともに、ワクチンの3回目接種後5ヵ月を経過した60歳以上の方と基礎疾患を有する18歳から59歳の方を対象に、4回目の集団接種を6月末から開始します。ワクチン接種は、発症や重症化を予防する効果があることが確認されています。村では、4回目のワクチン接種の準備を進めるとともに、追加接種はもとより、1回目、2回目の接種を受けていない方に対しても、接種を検討していただけるようお願いしてまいります。

次に、「地方創生臨時交付金（コロナ対策事業）」についてであります。ロシアによるウクライナ侵攻やサプライチェーンの混乱などの影響を受けた原油や物価の高騰に対応するために、地方創生臨時交付金を拡充して新たに、「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が創設され、青木村には、約4,200万円の内示がありました。

本議会では、村の実情にあわせて計画しております事業について、約4,500万円の補正予算をお願いしております。当初予算と今回の補正予算を加えた令和4年度の16事業約1億4千万円の事業概要は、次のとおりです。

令和4年度 地方創生臨時交付金（コロナ対策事業）

1. 公共的空間安全・安心確保事業・・・580万円（担当課等：総務企画課等）
公共的な施設での安全・安心確保のために必要な消耗品等を購入するものです。
2. 地域消費券発行事業・・・1,500万円（担当課等：商工観光移住課）
低迷する地域経済の活性化のため、地域消費券を発行するものです。本議会補正予算に2回目プレミアム率15% 発行額6,000万円の経費を追加しました。
3. 保・小・中給食費等軽減事業・・・3,347万5千円（担当課等：教育委員会）
【物価・原油高騰対応分】
村内の保・小・中給食費を無料化し、村外に通う方並びに3才未満児に村内給食費相当分を補助するものです。本議会補正予算に、高騰する食材の影響で、10%増額する経費を追加しました。
4. 中小事業者等相談業務強化支援事業・・・300万円（担当課等：商工観光移住課）
中小事業者に対して、事業継続、融資などの相談業務を強化するものです。
5. 小・中学校等活動円滑化支援事業・・・160万円（担当課等：教育委員会）

修学旅行等のキャンセル料の負担や、家庭でのリモート学習へのポケットルータの貸し出しなど、学校活動を支援するものです。

6. 快適・安全保育環境改善事業・・・2,950万円（担当課等：教育委員会）

保育園の未満児保育室の増築など、保育環境をより安全な環境に整備するものです。本議会補正予算に、高騰する資材への対応する費用を追加しました。

7. 公共交通応援事業・・・100万円（担当課等：総務企画課）

千曲バス青木線に対して、事業継続の支援を行うものです。

8. スマート農業推進事業・・・500万円（担当課等：建設農林課）

スマート農業を推進し、農作業の負担を軽減するため、ラジコン畦畔草刈機を購入するものです。

9. 行政事務デジタル化推進事業・・・890万円（担当課：住民福祉課）

行政のデジタル化を推進するため、マイナンバーカードを活用して、住民票などの交付をコンビニエンスストアで行うシステムを構築するものです。

10. 地方への移住推進事業・・・265万円（担当課等：商工観光移住課）

村内の村営住宅等の住宅施策の方向性をまとめて、移住施策の推進をはかるものです。

11. 行政事務体制継続・分散化事業・・・125万円（担当課等：総務企画課）

役場内での感染リスクを分散化し、業務が継続して行える環境を整えるものです。

12. ワクチン接種円滑実施支援事業・・・104万5千円（担当課等：住民福祉課）

コロナワクチン接種が円滑に実施できるための環境を整えるものです。

13. 生活応援券配布事業・・・2,800万円（担当課等：住民福祉課）

【物価・原油高騰対応分】

物価・原油高騰に影響を受けている皆さんに、商工会の地域消費券を活用した生活応援券（仮称）を配布するもので、低所得者やひとり親家庭へは、上乘せして配布を行うものです。

14. 農業者経営継続応援支援金事業・・・300万円（担当課等：建設農林課）【物価・原油高騰対応分】

原油高騰などに影響を受けている農業者に、事業継続のための支援を行うものです。

15. 商工業者経営継続応援支援金・・・700万円（担当課等：商工観光移住課）【物価・原油対応分】

物価・原油高騰などに影響を受けている商工業者に、事業継続のための支援を行

うものです。

16. 抗原検査キット配布事業・・・60万円（担当課等：住民福祉課）

抗原検査キットを村で購入し、必要な方に配布を行い、検査体制を強化するものです。

引き続きワクチン接種を推進するとともに、①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いの励行 といった新しい生活様式の実践に長期的に取り組み、感染防止に努め、村民の皆様と共にこの難局を乗り切ってまいりたいと思います。

次に、「株式会社竹内製作所工場建設」につきまして、今は本体の基礎工事中で順調に進んでいるとのこととあります。

県・村が担当します道路及び用水路付け替え工事は、地権者の皆様のご協力をいただくことができましたことから、工事発注の準備をしております。

「国道143号青木峠バイパス事業」につきまして、長野県上田建設事務所では工事着工へ向け、調査・設計等を行っております。

約3.8kmのトンネル工事を含む今回の事業においては、工事着工前に必要となる調査・設計等の業務が多岐にわたると聞いています。

現在は、トンネル本体の設計が完了し、その付帯施設となる非常用設備設計を進めているほか、これから、トンネル坑口（入口）部分の道路詳細設計や、トンネル残土の処分についての検討などを予定しているとのこととあります。

その後、設計内容がまとまった時点で、地元説明会等を行い、用地測量・物件調査に着手したいとのこととあります。

村としては、一日も早く完成するよう、要望活動を行うと共に、協力したいと考えています。

景気が気になるころですが、5月25日（水）付の内閣府「月例経済報告」によると、『景気は、持ち直しの動きがみられる』とのこととあります。

さて、3月定例会閉会后本日までの主な行事についてご報告いたします。

3月26日（土）、「青木村保育園卒園式」がありました。

前年同様コロナ禍のため規模を縮小して行いましたが、皆さんの成長を感じさせ

る感動的な式となりました。

3月26日(土)、「新生青木村65周年記念式典」を文化会館にて挙行了しました。式典では、村づくりに貢献いただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰させていただきました。

65周年を記念して村特産のタチアカネ蕎麦を使った蕎麦エールを製造し、当日お披露目をいたしました。数量限定で道の駅あおきにて販売しておりましたが、大変好評で早々に完売いたしました。

4月2日(土)に「青木村保育園入園式」、4月6日(水)には「青木小学校入学式」及び「青木中学校入学式」が挙行されました。

出席者はマスクを着用し、座席も間隔を開け、式の内容も大幅に縮小しての開催となりましたが、アットホームな雰囲気の中で、子ども達の健やかな成長を願いました。

4月8日(金)、猟友会の22名の皆さんへ「青木村鳥獣被害対策実施隊任命式」を猟友会館にて行いました。

農作物等の被害を減らすため、銃器やワナにより有害鳥獣の駆除を実施していただきます。

5月20日(金)、「夏まつり実行委員会」を行いました。

新型コロナウイルス感染症の状況をふまえて、総合グラウンドでの短時間のステージ発表と、花火大会を開催することになりました。悪疫退散を願いながら、夜空を彩る花火を見上げ村民の皆さんに笑顔になっていただきたい、そんな思いを込めて打ち上げます。

5月28日(土)、「埼玉県草加商工会議所」の野崎会頭や青年部長さん達が来村され、村商工会の岩下会長にもご出席いただき、今後の産業連携の可能性などについて意見交換会を行いました。

今年8月には、青年部の皆さん約40人が横手キャンプ場にお越しいただくことになり、リフレッシュパーク青木の魚釣りをメインイベントにしたいとのことでありました。

5月30日(月)、中学校生徒の皆さんが社会のために今すべきことを考え校内で集めた「ウクライナ人道危機救援金」16,554円の日本赤十字社長野県支部への送金を、文化奉仕委員会の皆さんから託されました。

日赤長野県支部に集められた救援金は、日赤本部を通して赤十字国際委員会や国際赤十字・赤新月社(せきしんげつしゃ)へと送金されます。(4月25日時点での総額は28億2千万円となっています)

救援金は国際赤十字が被災地の赤十字社とともに行う救援活動に活用されるほか、日赤が派遣する医療チームの活動などに使われます。

5月31日(火)、出納閉鎖し前年度会計の締めを行いました。

昨年度は国の地方創生臨時交付金等の財政支援があり、これを活用できましたことから、決算では例年になく繰越金の確保ができました。財政調整基金へ7千万円、公共事業整備基金へ1億8千万円を積立てすることができました。

今後もコロナ禍が国・県・村の財政に及ぼす影響は長期にわたると思われまます。このことを念頭に置き、健全財政に取り組んでまいります。

6月3日(金)、県の次期総合5か年計画に向けた「上田地域戦略会議」で、知事との懇談会が開催されました。

県からは「望ましい未来」と「取組の方向性」の考え方が示されました。

私からは、①山林の保全、②人口減少対策、③交通インフラ、④国道143号青木峠バイパス、⑤移住・若者定住、⑥学校教育 などに関して提案させていただき、濃い内容の会議となりました。

さて、本議会の議案についてであります。報告事項3件、議案2件であります。報告事項のうち第1号は、先の議会終了後緊急を要する案件につきまして、例年通り専決処分をさせていただいたものです。

令和3年度3月専決補正予算(令和4年3月31日付専決処分)の概要について

一般会計 第7号専決補正予算は、歳入歳出それぞれ1億7,080万8千円を追加し総額を33億2,667万とします。

厳しい財政運営の中ではございましたが、健全財政を確保できたと考えております。

しかしながら、今後、未だ収束をみない新型コロナウイルス感染症の影響から、国からの財政支援が不透明であると共に、税収の増加が見込まれない中、引き続き大変厳しい財政運営をしていくこととなります。

令和3年度3月専決補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入 (単位：千円)

目	説明	計上額
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の確定による増額補正	10,380 増
地方交付税	普通交付税の確定による増額補正	366,758 増
	特別交付税の確定による増額補正	71,743 増
基金繰入金	財政調整基金の取崩しを取り止めたことによる減額補正	△ 240,000 減
	土地開発基金の取崩しを取り止めたことによる減額補正	△ 19,300 減
	公共施設整備基金の取崩しを取り止めたことによる減額補正	△ 7,000 減

歳出 (単位：千円)

目	節	説明	計上額
財産管理費	積立金	財政調整基金積立金の増	70,000 増
		公共施設整備基金積立金の増	180,000 増
村営バス運行管理費	負担金補助及び交付金	地域路線バス維持対策負担金 千曲バス青木線運賃低減バス負担金事業費確定見込みによる増額補正	5,980 増
村長・村議会議員選挙費	備品購入費	無投票となったことによる減額補正	△ 4,235 減
	負担金補助及び交付金	無投票となったことによる減額補正	△ 9,238 減
老人福祉費	負担金補助及び交付金	長野県後期高齢者医療広域連合負担金の事業費確定見込みによる減額補正	△ 6,900 減

	操出金	介護保険特別会計への操出金確定見込みによる減額補正	△ 7,176 減
予防費	需用費	医薬材料費用について事業費の確定による減額補正	△ 8,508 減
林業振興費	委託料	松林健全化推進事業（伐倒駆除）等の確定見込みによる減額補正	△ 8,421 減

令和4年度6月補正予算の概要について

一般会計 第1号補正予算は、歳入歳出それぞれ6,050万6千円を追加し、総額を31億4,350万6千円とします。

令和4年度6月補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入

(単位:千円)

目	説明	計上額
民生費負担金	保育所 給食費軽減事業（物価高騰分）	729 増
総務費国庫補助金	地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰分）	42,323 増
民生費国庫補助金	子育て世帯生活支援特別給付金事業補助金	4,293 増
基金繰入金	五島慶太翁顕彰事業基金より繰入金	800 増
前年度繰越金	前年度繰越金を増額補正	7,398 増
雑入	（一財）自治総合センター助成金	2,500 増
	一般コミュニティ助成事業助成金	
	市町村振興協会地域活動助成事業助成金 地域防災組織育成助成事業	1,000 増

歳出

(単位:千円)

目	節	説明	計上額
財産管理費	需用費	公用車（マイクロバス）修繕に係る費用を計上	1,262 増
諸費	備品購入費	自治総合センター一般コミュニティ助成事業 （当郷・村松・入田沢・下奈良本・中村・夫神）	2,600 増

地方創生プロジェクト事業	委託料	五島美術館所有、五島慶太翁の肖像画に係る、クリーニング、額装、梱包輸送委託料 東急グループ100周年にあわせて、五島慶太未来創造館で、展示を行う費用	800 増
地方創生臨時交付金事業費		地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰分）	45,027 増
社会福祉総務費	負担金補助及び交付金	青木村社会福祉協議会事務室改修工事に係る協議会への負担金	1,912 増
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	負担金補助及び交付金	低所得世帯への給付金事業費	3,000 増
観光費	工事請負費	横手キャンプ場 場内水銀灯LED化改修工事費	1,200 増
小学校費 学校管理費	需用費	遊具修繕工事費用	553 増
図書館費	委託料	駐車場用地 測量委託料	770 増

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長、担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます。